

農村振興及び自然教育のための棚田ブランディング

Branding of Terraced Rice Fields for Rural Revitalization and Nature Education

野田坂 秀陽*
(NODASAKA Shuyo)

I. はじめに

農業・農村の役割は、農作物の生産だけでなく、美しい景観、文化の継承、子供の教育などもある。しかし、近代化の進展に伴い生産以外の面での役割が薄
5 5れ、農村の農地・自然の維持や自然体験の機会の確保が難しくなっている。その中で、岐阜県の棚田を自由に使える機会を得たので、特に教育に注目し、棚田を活用した形で子供が自然の中で遊び学べる場所を生み
10 10出せないか、実地調査とイベント開催によって模索した。また、情報通信技術は、通常アクセスの悪い場所にある農村を、都市など遠隔地から体験することを可能にすると考え、インターネットの活用方法についても模索した。

II. 活動内容

15 15 活動内容は、伝統的な農村景観を残す岐阜県の八百津町の山間部集落にて、①昨年度から続けている地元住民の方々へのヒアリング、②農村体験イベントの企画、③イベントの開催、を行った。体験型イルミネーションイベントを行った。

20 III. 結果と考察

①ヒアリングでは、八百津地域の魅力や地域おこしへの感度を知るために、八百津町で地域おこしに取
25 25 む方々や、集落の方々に聞き取り調査を行い、多くの方が地域おこしに期待していることが分かった。実際、近隣地域には若者を中心とした地域コミュニティも形成されていた。そこで、農村という地域資源を活用する本アイデアを紹介した。

②イベントの企画では、棚田の景観への愛着が深か
30 30 まり、かつ参加する人から通りがかる人まで含め関わる人全てが楽しめるイベントとして、棚田をライトアップするイベントを企画した。子供を中心とする参加者が絵を描き、その絵を棚田上に LED ガーデン
35 35 ライトを設置して、ライトアップで再現する。子供にとって自分の作品が展示される体験自体が貴重な上、自然の中で電球の設置等の作業をするということも環

境教育に有意義だと考えた。棚田のある農村が子供
40 40 に対し自然教育と遊びの場を提供し、子供は農村への訪問を通じて人的交流の機会を提供する、相互作用をテーマにしている。このコンセプトを軸に行う活動を「棚田をテラス」という名を付けて企画を実施することを計画した。

③イベントは、八百津の棚田にて、集落内の子供が
45 45 いる家庭を招いて 2022 年 3 月にイルミネーションイベントを小規模に開催した。実際に参加されたのは 15 家庭 3 人の子供とご両親だった。私たちが拠点として
50 50 いる古民家にお呼びし、絵を描いて図案を作成する、棚田に移動し、図案を基に全体を俯瞰し指示を出したり、指示のもと電球を並べたりする工程を、参加者間で役割を入れ替えながら行った。終了後には、夜の棚
55 55 田で遊ぶことが想像以上に楽しいという感想を頂いた。課題としては、イルミネーションが夜のため、子供にとっては開催時間が遅くなってしまうことがあった。

そこで、より参加しやすい形として、wifi カメラで
55 55 のリモート観察や、LED 電球のオンオフなどをオンライン操作を可能にして、現地に行けない場合でも参加できる状態にすることを次のステップにした。

IV. まとめ

60 60 棚田のライトアップを制作するイベントを通じて農地・農村を農業以外の面での価値を体験できる仕組みを考案した。そして小規模ながらも実際に開催し、運営時の課題や参加者のフィードバックを確認することができた。

* 東京大学農学部環境資源科学課程 4 年
イベント

キーワード 農業農村工学会, 報文, 棚田, イルミネーション,



岐阜の古民家、棚田を中心とした子どもへの自然教育活動。
 コンセプトは「創造的公園」。

都市の公園は禁止事項だらけ。山に勝手に入るのは危ない。
 外で自然の中で思い切り遊べる場所は珍しい。
 ここでは、遊ぶためなら自由に使っている。
 クリエイティビティに富んだ使い方を見つけて欲しい。

イルミネーションイベントの企画を行った。

LED電球でライトアップ
 イルミネーション
 いっしょにやらない?

夜の田んぼに浮かび上がったピエロ?
 (2022年1月の実験の様子)

みんなで作るイルミ「棚田をテラス」

1. 絵を描く
2. ライトの田植え
3. 作品を発表する

2/26 15:00 ~
 八百津町赤薙
 小学生～高校生
 外遊び、絵が好きな子

お問い合わせ
 tanada.o.terrace@gmail.com

参加申し込み
 上手くできない時はメールにて。

主催者：「未来図チーム」
 東京大学農学部学生チーム。自然大好き！
 新しいもの好き！そんな好奇心溢れる学生達が
 「農村の未来を考えよ」というお題に取り組む。

理想とする農村と子供の関わり

棚田を中心とする農村と子どもの関わり



イルミネーションイベントの様子



オンライン操作可能な水田イルミネーションも試作した。



